

# ふきの芽

第284号  
 【発行日】令和2年10月25日  
 【発行者】八俣ふきの芽会  
 茨城県古河市 山田 317-3  
 Tel 090 2234 6965  
 Fax 0280-78-2429

## 古河市の「製造品出荷額等」は 県内市町村で二番目の規模に上昇 市長と語るうまちづくり

10月4日、古河市三和農村環境改善センターホールで古河市主催の「市長と語るうまちづくり」が開催された。会場にはコロナ対策のため各行政区2人、合計50人程の19地区住民が参加。市側からは市長、副市長、教育長、他の方々が出席。森田県議会議長、古河市議会議員もオブザーバーとして参加した。はじめに、古河市長から古河市の現況や新たなプロジェクトへの取り組みなどが説明された。その後、参加者からの質問に入り、市長や関係部署の責任者から説明がなされた。



- 初めに取り組み方針の説明が最に行われた。
- 1・市政宣言  
 まちに活力・成長力に安心・安心感  
 魅力あふれる都市づくり  
 ・持続性
  - 2・まちづくりの課題(1)  
 少子高齢化により25年間で2万5千人が減少(推計)
  - 2・まちづくりの課題(2)  
 地方創生への取組  
 社会資本の老朽化への対応  
 市役所業務のAI化や自動化
  - 2・まちづくりの課題(3)  
 自然災害への備えなど安心安全なまちづくり  
 感染症対策の強化
  - 3・重点施策  
 3つの視点からまちづくりを推進中。成長力、安心感、持続性を7つの政策分野ごとに検証、実施中。
- 参加者からは自然災害への備えについて要望が寄せられた。



## 秋の定番コスモスが 見当たらないぞ！

三和町の花、コスモスが八俣地区ではすっかり見られなくなってしまった。そんな中、小立野行政区の荒川あきさん宅の菜園で見事に咲いているコスモスを発見した。10/18写真上 早速カメラに収めた、実に美しい。しばらく時を忘れて見入ってしまった。キク科コスモス属。メキシコからスペインに渡り、コスモスと名付けられた。日本へは明治12年に渡来した。

## 市民協働 地域みんなで古河をつくる！

- |             |                            |
|-------------|----------------------------|
| 1. まちに活力    | 市民協働のまちづくり                 |
| 2. 人に安心     | 地域コミュニティの活性化               |
| 3. 魅力あふれる都市 | 人的資源の発掘と活用<br>市外人脈の開拓と人材活用 |

### 健康福祉

- 互いに支え合う古河をつくる
- 1・子育て支援の拡充
- 2・健康寿命の延伸
- 3・地域共生社会の実現

### 教育文化

- 1・生涯スポーツ、生涯学習の推進
- 2・安心して学べる学校教育の推進
- 3・交流のまちづくり推進

### 産業労働

- 1・企業立地による雇用拡大
- 2・地域経済の活性化
- 3・地方創生の推進

### 生活環境

- 1・災害に強いまちづくり
- 2・安心安全のまちづくり
- 3・循環型社会の実現

### 都市基盤

- 1・広域交通基盤の整備促進
- 2・生活基盤の整備
- 3・賑わい空間の創出

### 行財政

- 1・自主財源の確保
- 2・信頼される市役所づくり
- 3・持続的で自立した行政経営

### ネクストプロジェクト

- 新たな産業用地の創出  
圏央道IC周辺等における企業の立地ニーズに着目
- 製品出荷額 1兆3千億円超で神栖市に次いで県内2位に
- 名崎工業団地・仁連工業団地が出荷額を押し上げる
- 更なる雇用の場を確保するため候補地の選定、事業化に向けた検討開始。
- 積極的な企業誘致を拡大・継続する。
- 新たな企業進出が既に予定されており、増加が期待できる。

### 消防施設の再配置

消防施設の再配置計画との整合を図り、早期の事業化を進めます。

- 1・住吉分署(消防)の建替
- 2・駅西地区の消防施設の新設  
密集市街地の消防力強化

### 新しい時代の市民サービス

- 1・ICTを活用した行政サービスの向上。
- 2・ICTを活用した学校教育の充実。
- \*小・中学校におけるGIGAスクール構想の取り組みを加速化
- \*市役所への問い合わせをAIによる自動回答実用化へ実証実験

### 八俣小児童の遠距離通学対策について

かねてより懸案事項であった、八俣小学校における遠距離通学について、地域住民の要望をふまえて、古河市議会及び教育委員会では、現地調査及び小学校への聞き取り地元住民との話し合いに入った。今回、指摘されているのが長左エ門新田(十九丁の児童を含む)から八俣小学校への通学で、3kmを超える距離と、坂道が児童の通学に大きな負担となっているため、古河市に対し市の他地区で実施されている通学バス等の運用を参考に八俣地区への対策実施を強く要望している。

当日の会合で古河市長及び教育長が説明を行い、早急に実施に向けて調査検討することを約束したが、他地区との整合性も考慮しなければならぬので地域住民のご理解もお願いしたいとの回答であった。

### 要望事項

三和中から南に延びる、県道17号線バイパス沿いの歩道に防犯灯の設置を第19地区住民の総意として、古河市に陳情しているが、柵晒し状態で未だ実現していない。  
 真つ暗な夜道を帰途につく中学生の安全確保に向けて、早急な対応を求めます。

## クリーンアイ

古河藩、藩祖「土井利勝」  
 古河藩、藩祖土井利勝は三河の国、岡崎城下土井村(現、愛知県岡崎市土井町)出身。利勝は天正十五年(1587)二月、利昌より家督を相続している。

慶長五年の関ヶ原の戦いでは徳川秀忠軍に属し御使番役千五百石程でまた一介の小身に過ぎなかったが家康は慶長七年七月先の関ヶ原の戦い後の論功により、利勝を一挙に八千石を増し一萬石に取り立てている。

そして、利勝の運命の大転換点となったのは慶長十年家康の跡を継いで二代目将軍に秀忠が就任する事が決定した時である。

利勝は秀忠が幼少時代からの付家臣で秀忠から厚い信任を受けて成長してきたという経歴の持ち主で、これらの事から近い将来必ず幕閣の実力者として台頭するであろうと予見した幕臣が多数いた。

この様な大方の予想を覆すこと無く堅実な行動の元に幕臣では最高位の大老まで登り詰めている。

利勝が下総古河城主として十六万石を領有したことについても徳川四天王の井伊家には及ばないが、三河以来譜代の名門を誇る酒井や榊原、本多を凌ぐ家禄を得たことは、幕閣の中でもいかに文武に優れていたかの証明であろう。

そして家康、秀忠、家光の三代に渡って徳川政権を支えた、利勝を中心とした幕府の重臣達が「治政」を行う時の精神思想の核としたのは、「儒教」であり儒教の徳目は仁、義、礼、智、信、であり家康は勿論幕閣達はずは自らの人格を磨くことから始まった。

\*仁 他人に対する思いやり  
 \*義 正義、平等、公正、清廉、  
 \*礼 尊敬、礼儀、権威に服従する  
 \*智 善悪を弁別する是非分別  
 \*信 信義、誠、誠信

徳川政権二百六十五年を維持、継続できた原動力は正にこれらの優れた政治力であったと思われる。

日本人特有の情緒性と幕臣達の精神的な支柱となった儒教を取り入れた発想力の展開など、

「温故知新」現在、そして未来の政治を司る方々への大きなヒントではないだろうか。

古河市歴史博物館 運営協議会  
 委員 忍田直哉





10月2日、特別養護老人ホームみどりの里で平成31年1月に亡くなられた初代みつなみ会グループ理事長、故、並木寛氏の功績を讃

**いつまでも見守って  
下さいネ。みつなみ会  
初代理事長胸像建立除幕式**

えた胸像建立除幕式が行われた。当日はコロナ禍の最中とあって関係役員のみで参加で執り行われた。参加者からは、偉大な創始者の業績や思い出話が多く語られた。尚、胸像は以前、長左工門新田に工房を構えていた彫刻家の籠瀬露風先生により制作された。写真上 除幕式の様子

並木寛氏の履歴  
昭和18年10月八俣村東山田で出生  
結城第一高等学校卒業後、農業、不動産業を経営。  
昭和59年三和町議会議員に初当選  
平成2年医療法人三和みつなみ会三和記念病院を開設し会長に就任  
平成5年埼玉県宮代町に特老「みどりの森」を開設。平成8年特老「みどりの里」を三和町に開設。  
平成17年三和町尾崎にデイサービスセンター「みどりの丘」同19年結城市に「きぬの郷」同21年宮代町に「ふるさとねの郷」を開設。  
8期にわたる議員活動で合併時の新古河市初代議長を務める。  
平成31年1月天皇陛下より旭日双光章の勲章を賜る。

**皆が幸せでないとなー!**

市民の皆さまには、感染リスク拡大防止のために、引き続き国、県、市が発信する新型コロナウイルスに関する正確な情報に基づき冷静な対応をお願いいたします。

また、感染者及び濃厚接触者などに対し、人権への配慮と個人情報保護へのご理解を強くお願いいたします。

本市といたしましては、引き続き感染拡大防止に向け、国や県との連携をさらに強めるとともに、市民の皆さまへの適切な情報提供と感染症予防に取り組んでまいります。

古河市長 針谷力

秋の訪れと共にキンモクセイがあららちちらで甘い香りを漂わせている。

長左工門の三和食鶏さんにデツカイキンモクセイがあると聞き、駆けつけてみた。

イヤイヤ見てビックリ。綺麗に剪定された大木にオレンジの花が咲きこぼれていた。

早速、社長の倉持栄さんに話を聞いてみた。今から53年前、今の仕事を始めるチョット前に5千円で苗を買求め、自宅の庭に植えたものだという。その後工場の拡張のため自宅を移転したがキンモクセイはそのままの場所



に植えておいたという。毎年手入れは欠かさないが、私の半生はこの木と共に成長してきたという。

昭和48年に(株)三和食鶏を設立し、その後(株)三和食品、(株)三和食鶏、三和ファームサービスなどを次々設立し事業を拡大。

今や茨城県でも有数の企業に成長した。今は現役を引退し二代目に引き継いだという倉持さん。しかしながら、言葉の端々にはまだまだ事業を拡大する意欲が滲んでいる。幹回りを測つたら1.5m程に成長しているキンモクセイ。三和食鶏と共にどこまで成長するのか計り知れない可能性を秘めて来年も再来年も咲き続けることでしょう。

**いきいき  
活弁やまた**

**五十三年間、会社の発展を  
見つめ続けてきたキンモクセイ**



中国南部原産で日本へは江戸時代に渡来した。10月6日撮影

ちなみに、このキンモクセイが植えられた53年前つまり昭和42年頃というところ、ミニスカートの女王ツイッギーが来日しブームとなった。映画では「黒部の太陽」、「夕陽のガンマン」。歌謡曲では、ひばりさんの「真赤な太陽」や「帰ってきた、ヨッパライ」などが流行していた。テレビのカラー放送が開始された年でもある。

和名の由来は、この樹皮がサイ(犀)の足に似ているため中国で「木犀」と名付けられた。

**\*\* ひばりくん防犯メール \*\***



- 《警察官を名乗るアポ電に注意!!》**
- ◆古河市内の多数のお宅に古河警察署の警察官を名乗る男から
    - ・犯人を捕まえたらあなたのキャッシュカードがあった
    - ・以前に落とし物をしていませんか
 などとセ電話詐欺のアポ電がかかってきています。
  - ◆犯人は警察官になりすまし、みなさんの個人情報やお金を奪おうとしていますので、十分注意してください。
  - ◆男性だけでなく、女性の受け子が増えています。犯人と直接話をしないよう、留守番電話を活用しましょう。怪しい電話やメールが来た際には、警察へ相談してください。

**《ガス点検業者を装った不審者に注意!!》**

- ◆古河市内でガスの点検業者を名乗る男に、現金を請求される事案が発生しました。
- ◆業者を名乗る者は、
  - 年齢 40歳くらい
  - 上衣 白色長袖シャツ
  - 下衣 白色ズボン
 の男で、「書類を車から取ってくる」と言って、立ち去りました。
- ◆怪しい業者が自宅に訪れたり、不審者を見かけた際には、  
**古河警察署 0280-30-0110 までご連絡ください**

**地域情報**

八俣小まつり中止のお知らせ

令和2年10月31日(土)に予定されていた「八俣小まつり」について、新型コロナウイルス感染症の現在の状況を考慮し、検討を重ねた結果、本年度は中止することになりました。

楽しみにされていた皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承いただけますようお願いいたします。

令和2年10月5日

古河市立八俣小学校長 沼田博一  
同 PTA 会長 並木淳一



**自助、共助、公助**

**災害時、まずは自分の命を守り、その後、近隣住民で助け合いを!**

ふきの芽会自主防災研究会 写真は平成27年9月8日、関東・東北豪雨時の八俣地区の様様。

